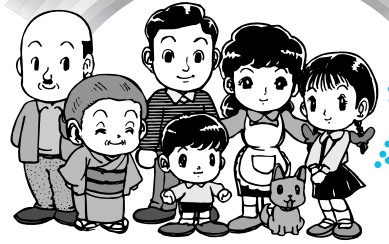


# こちら 健康情報局

No. 12



## C型肝炎のはなし

彦根保健所長 寺尾敦史あつし

おくと、肝硬変や肝がんになる場合があることが知られています。

### 肝炎ウイルス検診について

今年度から市が実施する肝炎ウイルス検診では、原則として40歳 45歳 … 70歳と5歳刻みで節目に当たる人に血液検査を受けていただき、5年間で一回りする計画です。検査によって、肝炎ウイルスが現在身体の中にある可能性が極めて高いかが分かります。そして、必要な人については医療機関にかかっていただくこととなります。

なお、C型肝炎ウイルスが発見され、輸血用の血液などについての精度の高い検査が行われている現在では、通常の日常生活において新たにC型肝炎ウイルスに感染する可能性は極めて低いため、肝炎ウイルス検査は1度受ければよいとされています。

### 感染の防止

C型肝炎ウイルスの感染力は比較的弱く、通常の日常生活で周囲の人に感染させることはほとんどありません。ただし、血液が感染源となることから、血液や分泌物およびこれらの付着したものの処理には注意してください。また、感染している人は献血を避けましょう。

▼来月のテーマは「糖尿病の予防」

日本に多いウイルス性肝炎  
今回のテーマは、肝臓の病気の一つである肝炎です。

肝炎の原因には、アルコールや薬剤などもありますが、我が国ではウイルスの感染によるものが多くを占めています。

ここではC型肝炎の原因となるC型肝炎ウイルスを取り上げたいと思います。

### C型肝炎について

かつて我が国ではC型肝炎ウイルスの感染が広がった時期があり、若い人に比べて40歳以上の人では感染している人の割合が高いことが知られています。

このウイルスは血液を介して感染します。そのため、平成4年以前に輸血を受けた人や、大きな手術を受けたことがある人などは感染の可能性が高いとされています。しかし、たとえ感染しても自覚症状がない場合が多く、そのまま放つて